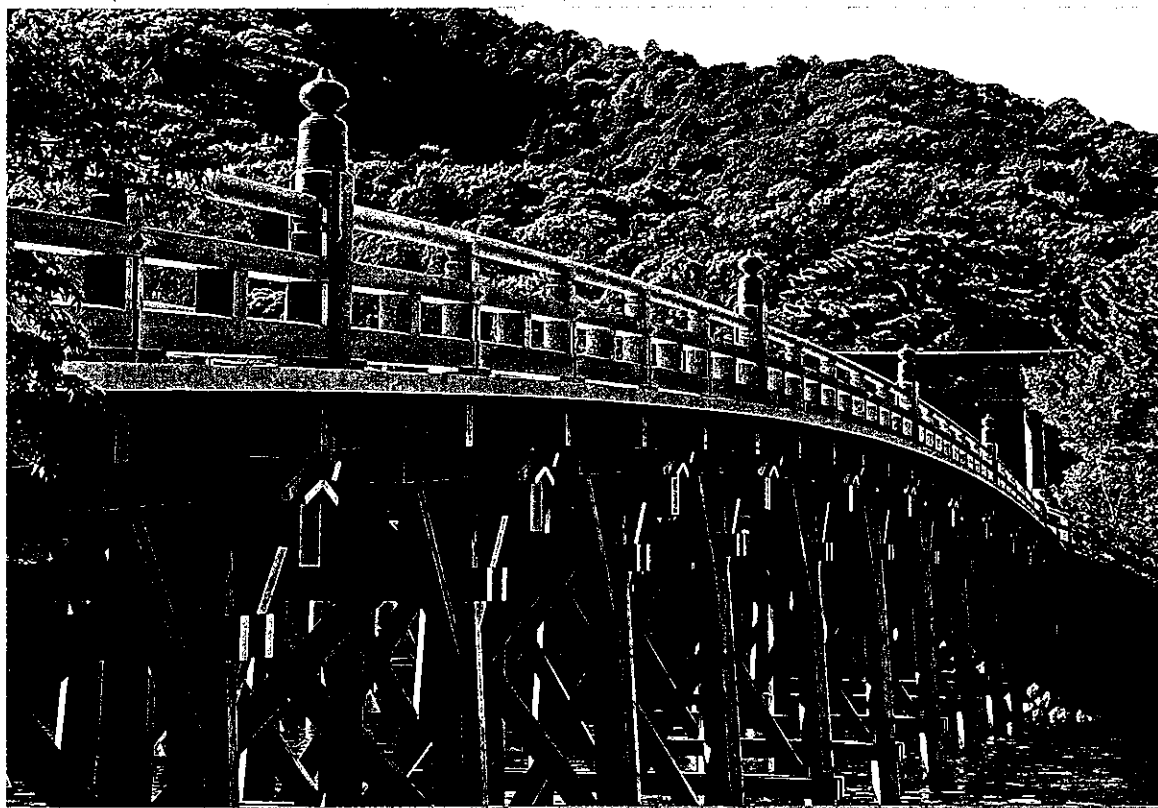


平成 28 年度
中部地区公立小・中学校女性校長研修会

三重大会

報告書



伊勢市：神宮宇治橋

期 日

平成 28 年 8 月 5 日 (金)

会 場

アスト津・ホテルグリーンパーク津

主 催

中部地区公立小・中学校女性校長会
三重県公立小・中学校女性校長会

祝 辞 3

津市長 前 葉 泰 幸 様



ご紹介をいただきました津市長の前葉泰幸でございます。ようこそ津市へお越しいただきました。心から歓迎を申し上げます。私は、先ほど披露された「唐人踊り」が伝わる分部町の隣町の宿屋町で生まれて育った人間でございますので、本当は津市の魅力を3分間ぐらいで一生懸命PRしたいところですが、今日は話を変えまして、地教行法が改正になった後、首長、特に市長がどんなことを考えているのかというお話をしたいと思います。地教行法の改正は、教育委員会と首長の権限の関係を全くさわりませんでした、教育大綱というのを作ることになりました。それを総合教育会議、すなわち教育委員会と首長でやる会議で協議した上で決めましょうということになりました。

昨年、総合教育会議を11回やりました。今年度は、教育大綱を作るための積み上げの議論をしていくため、教育現場へ出て行こうということにしました。校長会、教職員組合、教職員の先生、それからPTA連合会へ総合教育会議が出かけて行って、議論をしていきました。校長会との話し合いでは、教員の多忙化をどう解消するか、学校の防災力をどう高めるか、施設整備をどうするかということ、現場の先生方は、教員の多忙化解消、それから学校事務をどう見直すか、そして施設整備をぜひやってほしいということ、PTAの方々とは、クラブ活動において先生方にどういうふうをお願いをしたいとか、子どもたちの避難についてどう対応するか、こういうことが議論になりました。

三つともおおむね、子どもたちと向き合う教員の時間の確保と、学校経営のあり方、そして教育環境整備がテーマとして出てきました。これはわれわれが、テーマとして設定したわけではありません。フリーディスカッションをやって、総合教育会議と議論して出てきた話題でした。

私たちは、こういう観点で教育大綱を作りたいと思います。子どもたちと向き合う時間をどう確保するかということであれば、教員のためにわれわれが教育施策として何をやればいいのかということで、例えば、特別支援教育の支援員を増員してほしいと要望がよく出ますよね。これは、子どもたちのためでもあります、同時に先生たちがより教育に集中していただけるような環境をつくるということにもつながると思うんですね。そういうふうに施策を有機的に考えていかなければいけないとあらためて感じた次第でございます。

今日の分科会のテーマを拝見しました。確かな学力と豊かな心を育てる教育活動をどう校長として指導していくか、それから教職員の資質、能力の向上をどういうふうに校長として指導していくか、それから学校経営をどういうふうにしていくか、この三つのテーマだと伺いました。非常に我が意を得たりという感じがしております。私たちが教育大綱で書こうとしていることが、やはりこういう場所で議論されているということが分かりました。日本中どこにもないような教育大綱を津市は作りたいと思っておりますので、決意表明をいたしまして、歓迎のごあいさつとさせていただきます。本日は、おめでとうございます。